

## ようこそ！開校150周年の麻里布小ホームページへ

### ◎岩国市と麻里布地区の発展の礎は400年前の大事業から

岩国は文字どおり平地の少ない土地でした。約400年前に、毛利藩の支藩としてこの地に入った藩主吉川広家は、数本あった錦川を一つにし、城下町を整備すると農地を確保するために干拓によって土地を広げていきました。江戸時代に田畑として耕作されていた広大な土地は、今日では、石油化学工場や製紙工場などの工業用地や商業地、住宅地などに姿を変え、岩国市は、多様な機能をもつ都市へと発展しました。

麻里布小学校も、校歌の二番に「ああゆかし麻里布の浦に」とあるように、昔の干拓地の上に立地しています。

そして現在、校区は市の中心地となり、市役所・警察署などの官公庁や商店街とともに、平地から丘へ連なる住宅地が広がっています。

### ◎祝 開校150周年、最盛期には約2000人の児童

本校は、明治6（1873）年1月に今津小学校として開校し、明治44（1911）年に麻里布尋常高等小学校となりました。昭和54（1979）年には1991人の児童が在籍していました。これのまで卒業した児童数は、16615人となります。本年度5月1日現在の児童数は800人。少子化が進んだ中でも県下有数の規模を有しています。令和4年度は、記念すべき開校150周年を迎えます。

### ◎令和4年度 学校教育目標の具現化に向けて

人口減少や「Society5.0時代」の到来、また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大など、複雑で予測困難な時代を迎えた今、児童が自分のよさや可能性を見だし、主体性やたくましさを携えて、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな未来を切り拓く力の育成が求められています。

こうした中で、学校教育目標「主体的に学び未来を切り拓く、たくましい『麻里布っ子』の育成」を掲げ、教育活動を展開します。

本年度の重点目標は、次の3点です。「にこにこ」「わくわく」「どんどん」をキーワードに、躍動感のある取組に努めてまいります。

#### 1 「安心・安全」（にこにこ）であること

「児童にとって、学校が安心できる居場所であること」「教職員は連携を大切にするチームであること」「保護者や地域のみなさまにも、開かれた学校・信頼される学校であること」などを大切にします。

また、感染症予防等に努め、安全を大切にしたい取組を推進します。

#### 2 「交流」（わくわく）を大切にすること

多様な人々と協働することで所属感が高まり、社会的変化を乗り越える力も育っていくと思います。異学年による縦割り班活動や、小中一貫教育を推進する中での異校種交流、さらには保護者や地域のみなさまとの交流等を大切にします。

また、地域の「もの・こと」との交流も積極的に取り入れます。

#### 3 「探求」（どんどん）を大切にすること

「わかる」「できる」などの達成感や満足感が感じられる授業づくりを大切にして、児童の主体的な学びを促進していきたいと思います。教員も授業改善に向けた研修を積極的に推進します。

児童も教職員も「探求」を大切にしたい学校でありたいと考えています。

学校運営には、保護者や地域のみなさまのご理解とご協力が不可欠です。この1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年5月

岩国市立麻里布小学校 校長 大野元良